

2010年7月12日  
SENDMAIL株式会社

---

## SENDMAIL、クラウド事業者向けのメールソリューション 「クラウドメール・インフラストラクチャ」を提供開始

スパマーによる「打ち逃げ」の悪用を防ぐ迷惑メール対策を完備  
ゲートウェイ管理、スパム/ウィルス対策、情報漏えい対策などユーザごとに設定可能

---

SENDMAIL株式会社(本社:東京都港区、社長 末政 延浩)は、クラウド事業者が安全かつ柔軟なメールサービスを提供するための「クラウドメール・インフラストラクチャ」を、本日7月12日より提供開始します。

「クラウドメール・インフラストラクチャ」は、メール配送エンジン(MTA)機能とアンチスパム/アンチウィルスをはじめとする各種セキュリティ機能を備えた VMware 対応のメールセキュリティ仮想アプライアンス「Sentrion MPV (セントリオン MPV)」と、総務省の通信事業者向け迷惑メール対策ガイドラインに準拠したコンサルティング、既存のメールシステムからクラウド環境への移行に関するコンサルティングなどの各種コンサルティングサービスを組み合わせたソリューションパッケージです。

### ◆ 通信事業者、ASP 事業者で実績のあるセキュリティ対策とコンサルティングサービス

簡単に短期間でメール環境を利用可能にするクラウドサービスは、迷惑メール送信者(スパマー)による「打ち逃げ」(※1)に悪用される危険性をはらんでいます。こうした危険性を回避するために、「クラウドメール・インフラストラクチャ」は、送信ドメイン認証、25 番ポートブロック(OP25B)による迷惑メール対策に必要な設定ファイルやテンプレートを組み合わせて提供します。

また、事業者のセキュリティ対策が違法行為とならないよう、SENDMAILならびに同社のパートナーが、総務省の「迷惑メール対策ガイドライン」(※2)に準拠し、長年の通信事業者や ASP 事業者向けサービスの実績に基づく適切なコンサルティングサービスを提供します。

### ◆ 契約ユーザごとの柔軟かつ効率的な運用管理

VMware 対応のメールセキュリティ仮想アプライアンス「Sentrion MPV」は、メールポリシー・エンジンを中核として、ユーザごと、ドメインごとの契約要件に合わせて、アンチスパム、アンチウィルス、誤送信防止、送信ドメイン認証などの各種セキュリティ機能を自由に組み合わせることができます。これにより、メールシステムは自社内に置き、セキュリティ管理だけをクラウド事業者のサービスで利用するというようなハイブリッド型のニーズにも柔軟に対応することが可能です。

また、メールポリシー・エンジンは柔軟に拡張可能で、クラウド事業者が独自のサービスを実装することも可能です。さらに、クラウド事業者は、契約ごとの設定を仮想イメージとして管理することで、複数のユーザに効率よくサービスを提供できます。また、基本的な構成・要件の仮想イメージをいくつか用意することで、サービスメニューとして効率よく展開することが可能です。

「クラウドメール・インフラストラクチャ」では、クラウド事業者用、エンドユーザの管理者用、エンドユーザのアカウント用に、それぞれ使い易い GUI が用意されています。また、クラウド事業者のサービスに統合できるよう、シングルサインオン(OAuth など)に対応する予定です。

「Sentrion MPV」に含まれるソフトウェアコンポーネントは以下のとおりです。

- (1) Mailstream Switch MTA : 高性能メール配送エンジン
- (2) Mailstream Manager : セキュリティ管理 (Sendmail Anti-Spam, Sendmail Anti-Virus を含む)
- (3) Mailstream Flow Control : 送受信メールの高機能トラフィック制御
- (4) Sendmail Directory : メールシステムに特化した高性能 LDAP サーバ
- (5) Mailcenter Quarantine : メール隔離用サーバフィルタ
- (6) Authentication : 送信ドメイン認証(DKIM, SenderID, DK)
- (7) Sentrion OS

◆「クラウドメール・インフラストラクチャ」の販売価格と提供時期など

◇販売経路: センドメールのパートナー各社

<http://www.sendmail.co.jp/partner/>

◇販売開始: 2010年7月12日

◇販売価格: オープンプライス

※1 スパムの打ち逃げ

短期間に大量に迷惑メールを送信し、プロバイダーからの警告が来る前に解約して、すぐに次のプロバイダーに乗り換えるといった行為。

※2 総務省の「迷惑メール対策ガイドライン」

迷惑メール対策技術導入を検討されている事業者の方へ

[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/d\\_syohi/jigyosha.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/d_syohi/jigyosha.html)

送信ドメイン認証及び25番ポートブロックに関する法的留意点の概要

[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/d\\_syohi/pdf/summary-j.pdf](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/d_syohi/pdf/summary-j.pdf)

---

## ■Sendmail 社について

---

<http://www.sendmail.com/>     <http://www.sendmail.co.jp/>

Sendmail 社(Sendmail,Inc. 本社：カリフォルニア州エメリビル)は、オープンソースのメール配送エージェント(MTA：Mail Transfer Agent)である「sendmail」の開発者であり、“Eメールの生みの親”とされているエリック・オールマン(現 CSO)により、ビジネスユーザのニーズに対応するために 1998 年に設立されました。現在は、スパム/ウィルス対策、トラフィック制御、コンプライアンス遵守のためのメールアーカイブなどの各種ソリューションを含め、ゲートウェイからメールボックスまで、信頼性の高いメッセージング基盤構築のための製品・技術サポートをトータルに提供しています。Fortune10 の内 7 社、Fortune100 の 50%が Sendmail 社の商用製品を採用し、日本国内でも、官庁、自治体、企業、大規模 ISP で 3 万ライセンス以上の出荷実績があります。英国、ドイツ、フランス、および東京(アジア太平洋地域)に拠点を擁し、日本法人は、2003 年 1 月に設立されました。

---

### 報道関係者お問い合わせ

SENDMAIL 株式会社 担当：末政(すえまさ) / 谷口  
marketing-japan@sendmail.com TEL：03-5537-0145

読者お問い合わせ先は以下をご掲載ください。

japansales@sendmail.com TEL：03-5537-0367

---

Sendmail は、Sendmail, Inc. の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標です。